



ファームウェアバージョン:	V1.20-rc039
ハードウェアバージョン:	A1
発行日:	2011/10/04

本リリースノートには、D-Link 製アクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のアクセスポイントがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

アクセスポイント本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

## 目次:

変更履歴とシステム要件: .....	2
アップグレード手順: .....	2
Web GUIを使用したアップグレード .....	2
追加機能: .....	4
修正した問題点: .....	4
既知の問題: .....	5

## 変更履歴とシステム要件:

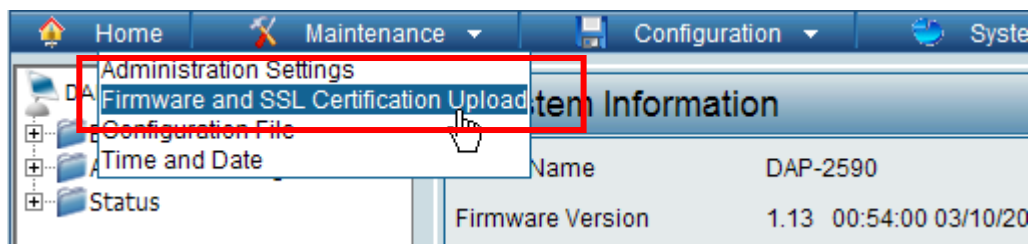
ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム: v1.20-rc039	2011/10/04	DAP-2590	A1

## アップグレード手順:

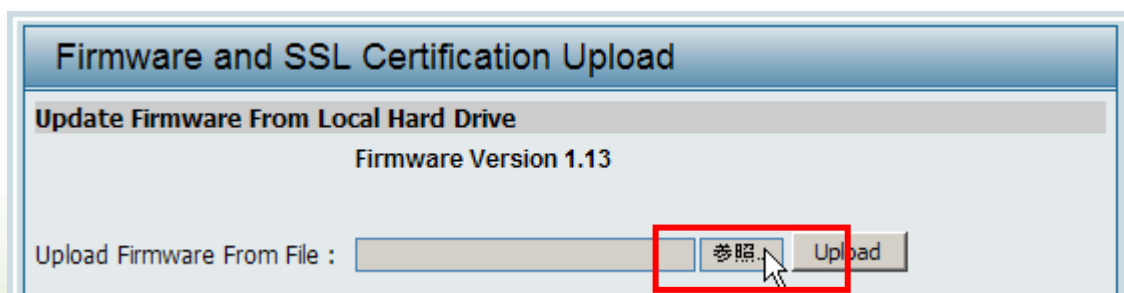
ファームウェアのアップグレードは、Web GUIから行うことができます。アップグレード方法は次の「[WEB GUIを使用したアップグレード](#)」の手順に従い進めてください。

### Web GUIを使用したアップグレード

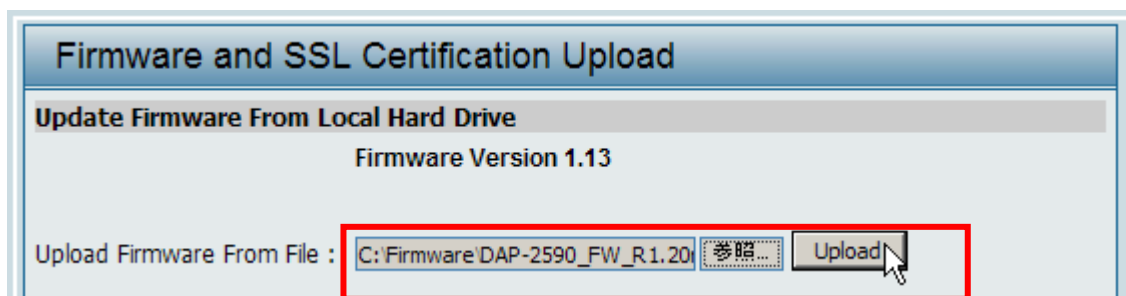
1. 本製品と設定用の PC を接続後、WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに WEB GUI の管理画面を表示します。  
※工場出荷時状態の IP アドレスは <http://192.168.0.50> です。
2. WEB GUI のログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力し、ログインしてください。  
※工場出荷時状態のユーザ名は「admin」、パスワードを「空白」です。
3. ログイン後、上部のメニューから「Maintenance」->「Firmware and SSL Certification Upload」の順でクリックします。



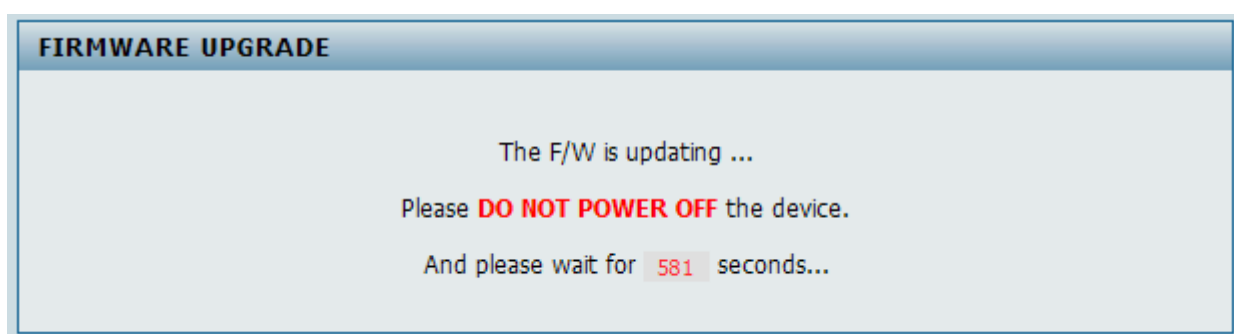
4. 「Firmware and SSL Certification Upload」画面が表示されたら、「Update Firmware From Local Hard Drive」の「参照」ボタンをクリックし、ローカルのハードディスクに保存した本ファームウェアを選択します。



5. ファームウェアを選択した後、「Upload」ボタンをクリックして、ファームウェアをアップデートします。



6. ファームウェアのアップデートを開始すると、下記の画面が表示されます。ファームウェアのアップグレードが終了するまで若干時間がかかる場合があります。



7. ファームウェアが正常に終了するとログイン画面が表示されますので、再度ログインしファームウェアがアップデートされているかご確認ください。

## 追加機能:

ファームウェアバージョン	追加機能
v1.20-rc039	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ACL file の Upload/Download に対応致しました。</li> <li>2. Console、および Telnet によるログイン時のパスワード非表示に対応致しました。</li> <li>3. AP Manager II v2.15 に対応致しました。</li> <li>4. AP Array Tool に対応致しました。</li> <li>5. Web Redirection に対応致しました。</li> <li>6. Syslog にて Warm Start を送信する機能に対応致しました。</li> <li>7. AP 宛の通信に関してポート番号による制限に対応致しました。</li> <li>8. マルチキャストの帯域制限をする機能に対応致しました。</li> </ol>

## 修正した問題点:

ファームウェアバージョン	修正した問題点
v1.20-rc039	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. IGMP スヌーピング機能を有効にした際に、AP が LLMNR パケットを転送しない問題を修正致しました。</li> <li>2. Multicast Bandwidth に関する Help を Web GUI に追加しました</li> <li>3. NTP を一度有効にした後、NTP を無効とした場合に AP が NTP パケットを送信し続ける問題を修正致しました。</li> <li>4. SNMP モジュールにおいて、一部のメモリ領域が開放されず、長期間の使用においてメモリ枯渇により Web GUI、Telnet が応答しなくなる問題を修正致しました。</li> <li>5. LLTD packet を受信した際に一部のメモリ領域が開放されず、長期間の使用においてメモリ枯渇により Web GUI、Telnet が応答しなくなる問題を修正致しました。</li> <li>6. "emailNotificationTable"において誤った値を返信していた問題を修正致しました。</li> <li>7. WDS を使用した際に、AP が IP アドレスを取得できない問題を修正致しました。</li> <li>8. 2つある AP が WDS with AP モードに設定されている場合、片方の AP がオープン、もう片方の AP が共有キーの暗号が設定されていても、WDS 接続が可能な問題を修正致しました。</li> <li>9. "Schedule rule list"のファイル名が空白となり表示されない問題を修正致しました。</li> <li>10. "AP Client mode"において、AP が IP アドレスを取得できない問題を修正致しました</li> <li>11. Multi-SSID を無効にした際、guest SSID に接続していた端末情報が残ってしまう問題を修正致しました。</li> <li>12. PVID Auto Assign 有効時に、コンソールまたは Telnet から VLAN の作成、削除を行った時、PVID を更新していなかった問題を修正致しました。</li> <li>13. アップリンク/ダウンリンクの帯域設定において、150Mbps 以上の値を設定できる問題を修正致しました。</li> <li>14. "WPA2-PSK+WDS WITH AP"を使用した条件において、リモートデバイスが認証されていなかったことにより WDS による AP 間の接続ができない問題を修正致しました。</li> <li>15. "MG-soft MIB Browser 10.0b"において、トラップ情報が受信できない問題を修正しました</li> <li>16. WDS 機能のスループットを改善致しました。</li> <li>17. 数時間経過後、AP に接続ができなくなる問題を修正致しました。</li> <li>18. 潜在的な脆弱性の問題を修正致しました。</li> <li>19. タイムゾーンの設定を行っていても UTC で表示される問題を修正致しました。</li> </ol>

**既知の問題:**

---

ファームウェア バージョン	既知の問題
v1.20-rc039	特になし

*Copyright 2006-2011 D-link Japan K.K.*